|  |
| --- |
| **あと施工アンカー工事**  **接着系／（カプセル式）** |
| **標準施工手順** |
| 現場名 |
| 社名 |

作業前ミーティング

穿 孔

機材・材料搬入

準　備

孔内清掃と穿孔径・穿孔深さ・穿孔角度の確認

固着と養生

片付け・清掃

自主検査（必須：目視確認、接触打音確認、任意：加力確認）

終了報告／完了報告

（　1　） 作業前ミーティング

（　2　） 機材・材料搬入

（　3　） 準備

（　4　） 穿孔

（　5　） 孔内清掃と穿孔径・穿孔深さの確認

（　6　） 固着と養生

（　7　） 片付け・清掃

（　8　） 自主検査

必須：目視確認、接触打音確認

任意：加力確認

（　9　） 終了報告／完了報告

・標準施工手順

|  |  |
| --- | --- |
| 施工手順 | 確認・注意事項 |
| （　1　）　ミーティング |  |
| ①　作業前ミーティング | 作業員の健康状態のチェック・予定作業の確認。  施工数量・作業手順の確認、搬入時通路の確認。 |
| （　2　）　機材・材料搬入 |  |
| ②　足場等施設の確認 | 作業区域、場所で安全に作業出来るか作業主任者の点検  ※足場が不安全な場合は管理者と協議し修正をお願いする |
| ③　定着位置の確認 | 図面および管理者立会いのもと確認を行う |
| ④　機材・材料搬入 | 指定通路を用いて安全に気をつけて搬入を行う |
| （　３　）　準　備 |  |
| ⑤　準備 | 施工工具・アンカー筋等の準備・確認  使用する材料の製品・容量・有効期限を確認 |
| ⑥　墨出し（穿孔位置）の確認 | 墨出し（穿孔位置）を確認する  ※墨出しは管理者の業務 |
| ⑦　埋設物の確認 | ・鉄筋や配管等の位置・深さを確認  ・電磁波レーダー法は、参考最大深度:600㎜（SIR-EZXT）  ・電磁誘導法は、参考最大深度：200㎜（PS300）  ・電磁波レーダー法は、鉄筋・塩ビ管・空洞を探査対象  ・電磁誘導法は、鉄筋のみ探査対象 |

|  |  |
| --- | --- |
| （　４　）　穿 孔 |  |
| ⑧　コンクリートドリルの選定 | 所定のビット径、有効長のドリルの選定 |
| ⑨　マーキング | コンクリートドリルにマーキング  または穿孔深さ調整機構による設定 |
| ⑩　コンクリートの穿孔 | コンクリート面に対し直角に穿孔 |
| （　5　）　孔内清掃と穿孔深さの確認 |  |
| ⑪　ブロワー・バキューム等で清掃する | 穿孔後、孔内の切粉を吸塵  孔内に残留物が無いか確認する |
| ⑫　穿孔径と穿孔深さの確認 | ノギスなどで、穿孔径と孔壁に沿って穿孔深さを計測 |
| ⑬　ブラシがけ | 穿孔深さや径に適合したブラシを用いて、孔壁面に付着している切粉を充分に掻き落とす |
| ⑭　ブロワー・バキューム等で清掃する | ・再び孔内の切粉を吸塵  ・孔内に残留物が無いか確認する |
| ⑮　再度、穿孔径、穿孔深さ、穿孔角度の確認 | ノギスなどで、穿孔径と孔壁に沿って穿孔深さを計測 |
| （　6　）　固着と養生 |  |
| ⑯　ブルーシート等で養生 | 周囲にエポキシ樹脂飛散が無いように養生する |
| ⑰　マーキング | 孔内にアンカー筋を入れ、施工面の位置にマーキング |
| ⑱　カプセル挿入 | 所定のカプセルであること、有効期限内であること、流動性があることを確認したのち、挿入方向を確認して孔内に挿入、吸水が必要なものについては所定の浸水時間の確認を行ったのち、挿入方向を確認して孔内に挿入する。 |
| ⑲　アンカー筋埋込み | ・回転・打撃型  アンカー筋にダブルナットを取付け、回転または回転打撃を与えながら、一定の速度でアンカー筋のマーキング位置が施工面に達するまで埋め込む  過剰撹拌をしないこと  ・打込み型  アンカー筋に打撃を与えながら、一定の速度で施工面に達するまで埋め込む |
| ⑳　効果養生 | 所定の硬化時間内はアンカー筋を動かさない |
| ㉑　ナット取り外し | アンカー筋等のダブルナットなどの取り外す |
| ㉒　硬化養生 | 所定の硬化時間内はアンカー筋を動かさない |
| （　７　）　片付け・清掃 |  |
| ㉓　片付け・清掃 | 作業箇所の片づけ・清掃 |
| （　８　）　自主検査 |  |
| ㉔　自主検査 | 必須：目視確認、接触打音確認、任意：加力確認 |
| （　9　）　終了報告／完了報告 |  |
| ㉕　終了報告／完了報告 | 当日の作業報告書／工事完了時に提出する報告書 |